



葛飾区都市計画マスタープラン 地域別勉強会ニュース

第5回
2022.6

第5回地域別勉強会 開催概要

		午前の部	午後の部
日時	6月11日 (土)	9時30分～12時00分	14時30分～17時00分
場所	男女平等推進 センター	1階 多目的ホール 2階 視聴覚室	1階 多目的ホール 2階 視聴覚室
参加 人数	合計54名 (欠席60名)	◎青戸・立石・四つ木：13名 ◎奥戸・新小岩：8名	◎水元・金町・新宿：8名 ◎柴又・高砂：12名 ◎亀有・南綾瀬・堀切・ お花茶屋：13名
内容	1. 座学 <ul style="list-style-type: none">・第4回地域別勉強会の振り返り・幅広い世代からの意見収集について・地域別構想素案(案)について 2. グループワーク <ul style="list-style-type: none">・地域別構想素案(案)に関する意見交換・地域名の通称の検討・第6回地域別勉強会の発表者の選出		

※
午前
午後
で
共通

座学

1. 幅広い世代からの意見収集について

地域別構想素案等について、幅広い世代の方からご意見をいただくため、オープンハウス(パネル展示、対面での説明)やWEBアンケート等を実施することを説明しました。

2. 地域別構想素案(案)について

地域別構想素案(案)について以下の内容を説明しました。

- 第4回勉強会意見の反映状況
- 地域の将来像、まちづくり基本方針
- 整備方針図、整備方針

アンケートのご意見等

- ・地域別構想素案(案)に、概ね今までの議論を盛り込んでいただけている。
- ・参加者が多くなかった割には、密度の高い話し合いになった。
- ・具体的な意見を言えてよかった。基本方針などの文章での言い回しがわかりづらい。
- ・全体的に地元住民中心の話し合いだった。転入者や賃貸居住者などの意見も聞くべき。
- ・今後も勉強会として継続できないか。

右の二次元コードから葛飾区HPの「第5回都市マスタープラン地域別勉強会の報告」のページをご覧ください。



お問い合わせ先

葛飾区 都市整備部 都市計画課 街づくり計画担当係
電話：03-5654-8382(直通)

【担当：山本、兵頭、原田】

水元・金町・新宿地域

地域の将来像（素案）

賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち

地域の将来像に対する意見

水元 ・特になし 金町・新宿 ・現在の内容で構わない

まちづくりの基本方針（素案）

- ①賑わいと活力のある拠点の形成
- ②公園と河川、農地など緑豊かでゆとりと潤いある住環境の形成
- ③駅周辺における交通結節点の機能強化や幹線道路網の整備

まちづくり基本方針に対する意見

<u>水元</u>	①	・水元地区に拠点づくり：高齢者が集まれる場所、老朽化した施設の更新 ・高齢者に配慮し、エレベーター付きの拠点整備
<u>金町 新宿</u>	①	・エリアマネジメント活動の中で、人との交流や繋がりが生まれる取組を実現すべきではないか。 ・区立中学校に行く人が少なくなっており、中学生の両親などの人材を確保しづらくなっているため、エリアマネジメント活動で子どもと親と一緒に参加できるきっかけや仕掛けを検討。
	③	・南北の移動のしやすさ（南北通路）の追加 ・UR金町駅前団地ストック再生と併せて交通結節機能の強化を図ってはどうか。

整備方針（素案）

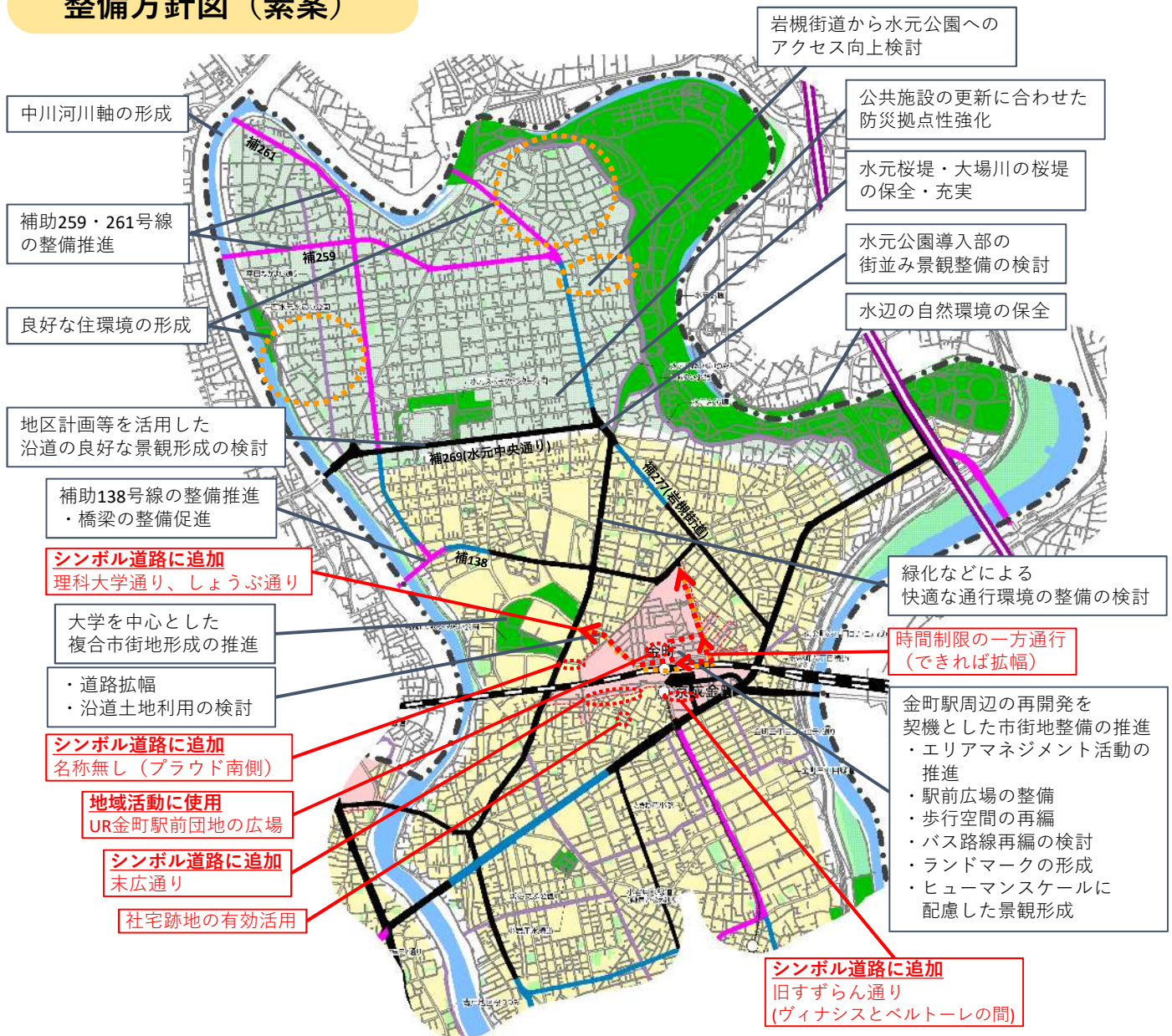
<u>水元</u>	防 災	・水元公園などの避難場所までの道路の無電柱化
	交 通	・狭あい道路の拡幅 ・自転車通行空間と歩行者空間の拡充
	緑・景観	・水元桜堤や大場川の桜堤の適正な維持管理を追加
	市街地整備	・観光資源のネットワーク化
	復 興	・水辺の公園を「西水元水辺の公園」に修正
<u>金町 新宿</u>	防 災	・水害時の避難場所の確保 ・来訪者が被災した時の対応を訓練
	交 通	・水元公園や柴又を回遊できるシェアサイクル
	市街地整備	・金町駅北口、南口にエリアマネジメント活動拠点の設置

地域名の通称

水元 ・現在の名称が良い 金町・新宿 ・現在の名称で問題なし

水元・金町・新宿地域

整備方針図（素案）



凡例

	: 参加者の主な意見
	: 主な整備方針（案）
	: 公園等
	: 河川
	: 広域拠点
	: 住環境保全ゾーン
	: 複合住宅ゾーン
	: 住工共存ゾーン
	: 一定規模の面積を有する公園
	: シンボル道路
	: 高速道路
	: JR
	: 私鉄
	: 行政界
	: 完成
	: 事業中
	: 計画路線
【都市計画道路整備状況】	

柴又・高砂地域

地域の将来像（素案）

魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の新たな都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなるまち

地域の将来像に対する意見

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|---|
| 柴又 | ・良いと思う | 高砂 | ・「水辺」、「水と緑」を追加
・多様な世代が交流してつながっていくまち
・様々な魅力があり多世代に対応している |
|-----------|--------|-----------|---|

まちづくりの基本方針（素案）

- ①京成本線の連続立体交差事業の早期実現、魅力と活力あふれる高砂駅周辺のまちづくり
- ②柴又界隈を中心とした魅力ある景観まちづくり
- ③快適な住環境の形成と商業・業務等施設が調和した災害に強いまちづくり

まちづくり基本方針に対する意見

柴又	—	・よくまとめられている
-----------	---	-------------

- | | | |
|-----------|---|---------------------------------------|
| 高砂 | ① | ・子育てのしやすさ、公共交通の充実で高齢者が住みよいまちの観点も追加する。 |
| | ③ | ・中川の水辺空間の保全、活用に関する意見を反映したものになっているか。 |

整備方針（素案）

柴又	交通	・散策ルート設定に加えて、案内板の設置。
	土地利用	・歴史的街並みの保全だけでなく、新たな賑わいの創出
高砂	交通	・新金線の実現を明記 ・成田空港だけでなく羽田空港にも繋がっていることを明記
	土地利用	・住環境改善のため、地区計画等の活用を追加 ・病院や子育て支援施設の誘導を追加
	緑・景観	・水辺の空間にプロムナードの連続を明記

地域名の通称

柴又	・特になし	高砂	・細田、鎌倉を追加する
-----------	-------	-----------	-------------

柴又・高砂地域

整備方針図（素案）



凡例

	: 参加者の主な意見
	: 主な整備方針（案）
	: 公園等
	: 河川
	: 広域拠点
	: 住環境保全ゾーン
	: 複合住宅ゾーン
	: 住工共存ゾーン
	: 一定規模の面積を有する公園
	: シンボル道路
	: 高速道路
	: JR
	: 私鉄
	: 行政界
	: 完成
	: 事業中
	: 計画路線

【都市計画道路整備状況】

亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋地域

地域の将来像（素案）

広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、
商業の賑わいと安全で快適に住み続けられる、歴史を残すふるさとのまち

地域の将来像に対する意見

亀有・お花茶屋

- ・住み続けたい「魅力」を追加
- ・「水と緑」という言葉を追加

南綾瀬・堀切

- ・広域拠点を中心にする必要はない
- ・「世代を越えた」が基本方針に繋がっていない

まちづくりの基本方針（素案）

- ①人々が集い、憩う個性あふれる魅力と賑わいある拠点の形成
- ②誰もが安全・安心に住み続けられるふるさとづくり
- ③地域の魅力を生かした、回遊性の高い緑のネットワークの形成

まちづくり基本方針に対する意見

亀有

お花茶屋

- | | |
|---|---|
| ① | ・大型商業施設と連携した広域商業環境を念頭におくべき |
| ③ | ・緑だけではないため「回遊のネットワーク」に変更
・魅力を生かすを「魅力をつくる」に変更
・歴史資源として「旧水戸街道沿道」を追加 |

南綾瀬

堀切

- | | |
|---|-----------------------|
| ① | ・基本方針①は、4地区共通の方針であるべき |
| ② | ・水害の内容が入っていない |
| ③ | ・歴史の中に「小菅」を入れる |

整備方針（素案）

亀有

お花茶屋

防 災	・公共施設は建替え時に防災に配慮
緑・景観	・花と緑あふれる ・区、区民、都立農産高校の協働 ・西亀有せせらぎ公園と青葉ふれあい通りを回遊性に含めたい
市街地整備	・観光拠点と連携した回遊ネットワーク ・中川のテラス化検討

南綾瀬

堀切

※整備方針については特に意見なし

地域名の通称

亀有・お花茶屋・南綾瀬・堀切 ・南綾瀬を小菅に変更 ・アイデア：葛飾西部地区

青戸・立石・四つ木地域

地域の将来像（素案）

区の中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち

地域の将来像に対する意見

- 青戸** ・「文化・観光のまち」という言葉を追加
- 立石** ・特に意見なし
- 四つ木** ・堤防等のハード整備で安全になっているが、住民は不安を感じているため、安全を「安全・安心」に変更したらどうか。

まちづくりの基本方針（素案）

- ①かつしかの核となる拠点形成
- ②防災性を重視した魅力と活力に満ちた住工共存のまちづくり
- ③河川を軸とした、回遊性の高い連続的な空間づくりと新しい水辺の魅力

まちづくり基本方針に対する意見

- | | | |
|------------|---|--|
| 青戸 | ① | ・高架下と連携した商店街活性化
・駅前基盤整備で安心・安全で歩きやすい |
| 立石 | ① | ・高架下の有効活用（駐輪場、駐車場、商店、集会所、医療モール等）
・再開発により若い人が増えるため、まちづくりに関わってほしい |
| | — | ・方針②と方針③については賛成 |
| 四つ木 | ① | ・駅前に、魅力的な公園があるだけでも若者が集まる。 |
| | ② | ・水害の視点を追加 |

整備方針（素案）

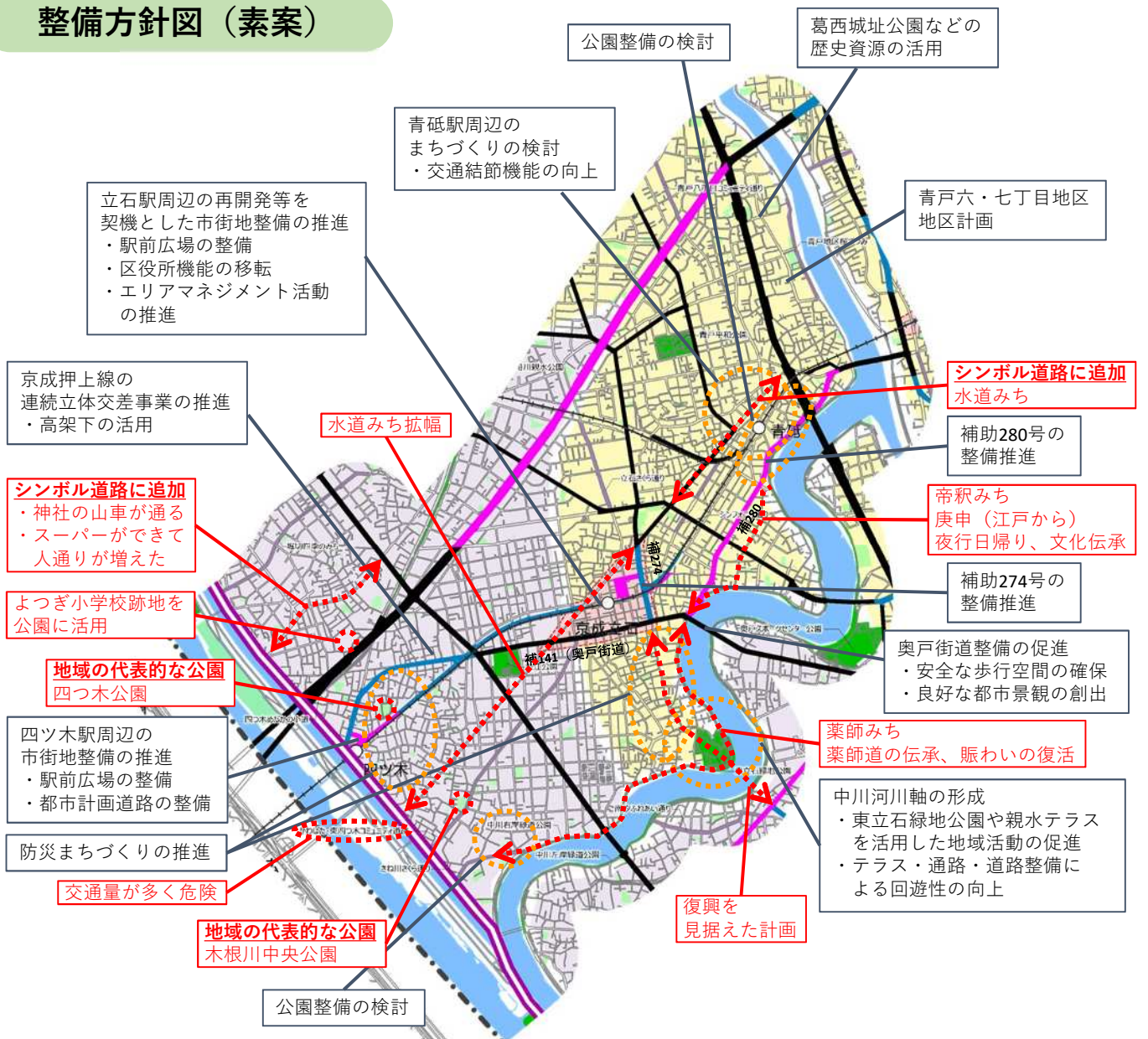
- | | | | |
|------------|-------|--------------------------------|---------------|
| 青戸 | 防 災 | ・無電柱化の推進（商店街含む） | ・防災用井戸の整備 |
| | 交 通 | ・駅前にロータリー・タクシー乗り場 | ・駅周辺に広い歩道 |
| | 土地利用 | ・駅前広場の整備 | ・駅周辺の高架下の有効活用 |
| | 市街地整備 | ・中川親水テラス周辺や繋がる散策路等、人が集まる仕掛けづくり | |
| 立石 | 交 通 | ・水道みちの拡幅整備 | |
| | 土地利用 | ・区民サービスを駅前に集約 | ・高架下の有効活用 |
| | 市街地整備 | ・賑わいづくりを見据えたオープンスペースの整備 | |
| 四つ木 | 防 災 | ・水害の視点を追加 | |
| | 市街地整備 | ・駅周辺に水害時に避難できる高いビルが必要 | |

地域名の通称

- 青戸・立石** ・特になし
- 四つ木** ・現在の名称が良い
・アイデア：四つ木・立石・青戸（都心から近い順）

青戸・立石・四つ木地域

整備方針図（素案）



凡例

	：参加者の主な意見
	：主な整備方針（案）
	：公園等
	：河川
	：広域拠点
	：高速道路
	：JR
	：私鉄
	：行政界
	：住環境保全ゾーン
	：複合住宅ゾーン
	：住工共存ゾーン
	：一定規模の面積を有する公園
	：シンボル道路
【都市計画道路整備状況】	
	：完成
	：事業中
	：計画路線

奥戸・新小岩地域

地域の将来像（素案）

駅周辺の魅力的な広域拠点の形成と

親水と浸水が両立した災害に強く生き活きと暮らせる多世代のまち

地域の将来像に対する意見

奥戸 ・特になし

新小岩 ・駅以外のエリアの緑豊かなイメージを打ち出す
・若い世代が入ってきて、多世代と交流するまち

まちづくりの基本方針（素案）

①多世代にとって魅力的な広域拠点の形成

②震災や水害など様々な災害に強いまちづくり

③中川をはじめとする川を生かした身近な水辺空間の充実

まちづくり基本方針に対する意見

奥戸 — ・特に意見なし

新小岩

①	・駅へのアクセス性の向上 ・良好な歩行者空間（駅前だけでなく広い範囲） ・交通結節点機能は既にあるため、そこにアクセスする道路を整備する
②	・南側に防災拠点をづくりたい
③	・川や水辺だけでなく緑もほしい ・川辺や堤防、道路沿いに花や緑

整備方針（素案）

奥戸

防 災	・④震災にも水害にも強い公共施設の整備に「民間施設」を追加 ・森永乳業跡地を防災公園に
交 通	・森永乳業跡地周辺の交通体系の検討（大型車交通の増加懸念）
土地利用	・③蔵前橋通りなどの都道の沿道では（中略）中高層建築を主体とした商業・業務等産業施設の立地誘導に「環状七号線」を追加
緑・景観	・④中川などの河川沿いでは（中略）散策路や親水テラスの整備に「水辺利用、休憩スポット」を追加する ・⑤蔵前橋通りなどの幹線道路では、緑化、無電柱化、沿道における良好な街並み形成に「環状七号線」を追加 ・生産緑地の活用を追加（葛飾元気野菜は人気がある、地産地消）

新小岩 ※整備方針については特に意見なし

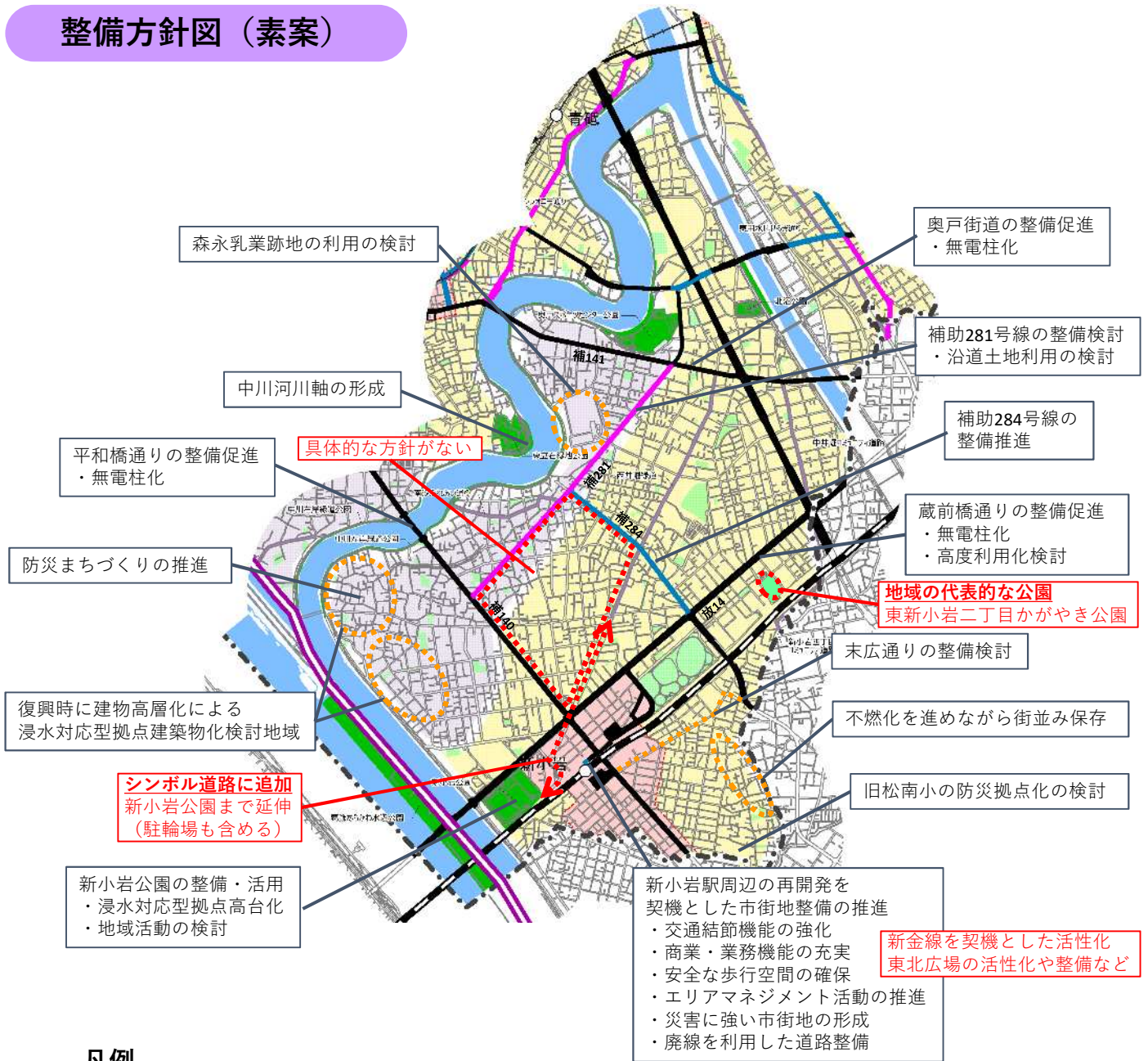
地域名の通称

奥戸 ・現在の名称が良い

新小岩 ・現在の名称で問題なし

奥戸・新小岩地域

整備方針図（素案）



凡例

	: 参加者の主な意見
	: 主な整備方針（案）
	: 公園等
	: 河川
	: 広域拠点
	: 高速道路
	: JR
	: 私鉄
	: 行政界
	: 住環境保全ゾーン
	: 複合住宅ゾーン
	: 住工共存ゾーン
	: 一定規模の面積を有する公園
	: シンボル道路
【都市計画道路整備状況】	
	: 完成
	: 事業中
	: 計画路線

葛飾区都市計画マスタープラン 地域別勉強会ニュース

第6回(最終回)
2022.9

第6回地域別勉強会 開催概要

日時	9月3日(土) 13時00分～15時00分
場所	男女平等推進センター 1階 多目的ホール
参加人数	合計59名(欠席55名) ◎水元・金町・新宿：11名 ◎柴又・高砂：13名 ◎亀有・小菅・堀切・お花茶屋：12名 ◎青戸・立石・四つ木：13名 ◎奥戸・新小岩：10名
内容	1. 区長挨拶 2. 座学 幅広い世代からの意見収集の結果について 3. 全体発表 各地域の地域別構想案の発表 4. 講評 中林一樹氏(東京都立大学・首都大学東京 名誉教授)

下の二次元コードから葛飾区HPの「第6回都市マス地域別勉強会の報告」のページをご覧ください。



地域別勉強会全体の開催概要

令和3年12月開催の第1回勉強会から、計6回にわたり、皆様のご協力のもと開催してきました。地域別勉強会でとりまとめた、「地域別構想案」は、策定委員会に報告いたします。

第1回(令和3年12月)

- ・都市計画マスタープランの概要等
- ・基調講演：都市マスと地域別まちづくり構想
：地域主体のエリアマネジメントとプレイスメイキング
- ・グループワーク：地域の魅力と課題を考えよう



【基調講演の様子】

第2回(令和4年1月)／第3回(2月)

- ・グループワーク：テーマ別に地域の魅力と課題を整理し、魅力の活かし方、課題への対応策を考えよう

交通

土地利用

みどり

市街地整備

防災

復興



【勉強会の様子】

第4回(4月)

- ・グループワーク：①地域の将来像を考えよう／②地域のまちづくり基本方針を考えよう

第5回(6月)

- ・グループワーク：地域別構想素案を考えよう

意見収集(7月)

- ・オープンハウス、WEBアンケート
区内6施設でのオープンハウスやWEBアンケートの実施により、地域別構想素案などについて、ご意見をいただきました。



【オープンハウスの様子】

第6回(9月)

- ・意見収集の結果報告
※報告内容については、最終ページをご覧ください。
- ・地域別構想案の発表
- ・講評、全体総括



【会場全景】



【区長挨拶】

水元・金町・新宿地域

■地域の将来像

賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち

■まちづくりの基本方針

- 1) 賑わいと活力ある拠点の形成
- 2) 公園と河川、農地など緑豊かでゆとりと潤いある住環境の形成
- 3) 駅周辺における交通結節点としての機能強化や幹線道路網の整備



発表の様子

整備方針図と発表のポイント

○：地域の思い □：発表した整備方針（抜粋）



東京理科大学などの教育施設や葛飾にいじゅくみらい公園を生かした生活拠点の形成

エリアマネジメントをきっかけに、次世代にも街づくりに関わってもらいたい

柴又・高砂地域

■地域の将来像

魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による、賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち



発表の様子

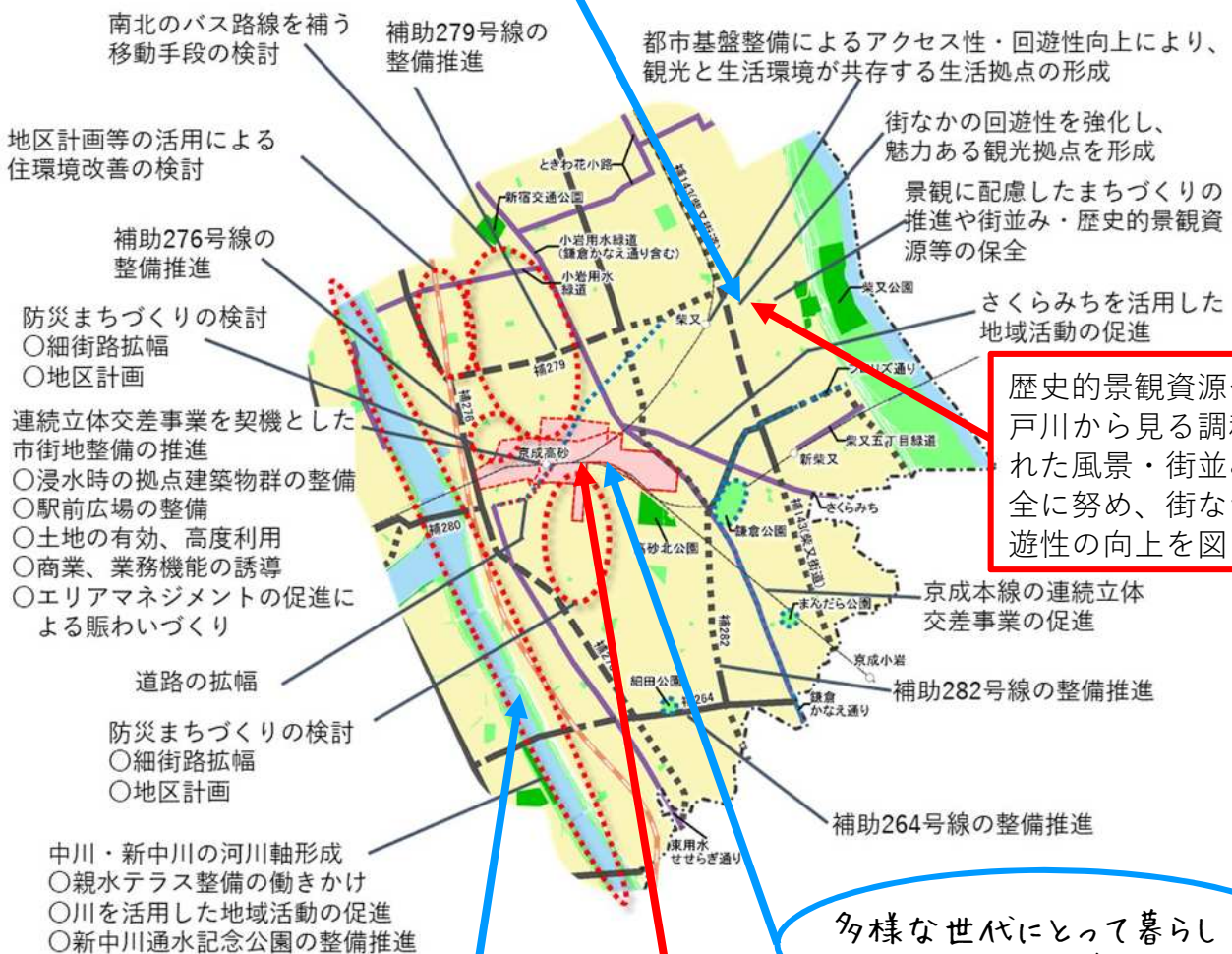
■まちづくりの基本方針

- 1) 京成本線の連続立体交差事業の早期実現、魅力と活力あふれる高砂駅周辺のまちづくり
- 2) 柴又界隈を中心とした魅力ある景観まちづくり
- 3) 快適な住環境の形成と商業・業務等施設が調和した、災害に強く親水性の高いまちづくり

整備方針図と発表のポイント

○ : 地域の思い □ : 発表した整備方針 (抜粋)

柴又は、平成30年に、都内初の国の重要文化的景観に選定



地域に身近な中川や新中川で、川を活用した地域活動を行っていききたい

高砂駅の連続立体交差事業を契機とした駅周辺の市街地整備やエリアマネジメントを推進

亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域

■地域の将来像

広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたいとなる、自然と歴史を残すふるさとのまち

■まちづくりの基本方針

- 1) 人々が集い、憩う個性あふれる魅力と賑わいある拠点の形成
- 2) 誰もが安心して安全に住み続けられるふるさとづくり
- 3) 回遊性の高い歩行者ネットワークの形成による地域の魅力づくり



発表の様子

整備方針図と発表のポイント

○：地域の思い □：発表した整備方針（抜粋）

〈地域共通〉

寺社などの地域資源を生かした魅力づくり

亀有駅周辺では、地元商店街と大型店舗が一体となった賑わいの創出を図る

小菅などに点在する自然や歴史資源を生かしたい

周辺の都市施設整備の進捗に合わせた街づくりの必要性の検討

亀有駅周辺での賑わい創出



- 堀切菖蒲園駅の周辺環境の改善
- 不燃化・耐震化の促進
 - 防災まちづくりの推進
 - 細街路や行き止まり道路などの解消による安全性の向上
 - 路地裏空間などの街並み景観保全
 - 駅周辺の交通環境改善の検討
 - 地域の特性に合わせた道路等の都市基盤整備
 - 身近な商業・業務機能集積を誘導し、地元商店街などの活性化

堀切地域では、建物の耐震化などの促進、行き止まり道路などの解消による安全性の向上を図る

堀切菖蒲園の周辺は、地元商店街と連携して回遊性を確保したい

青戸・立石・四つ木地域

■地域の将来像

区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち

■まちづくりの基本方針

- 1) かつしかの核となる拠点形成
- 2) 防災性を重視した魅力と活力に満ちた住工共存のまちづくり
- 3) 河川と一体感のある、回遊性の高い連続的な空間づくりと新しい水辺の魅力創出



整備方針図と発表のポイント

○ : 地域の思い □ : 発表した整備方針（抜粋）

〈地域共通〉

- 防災まちづくりの推進
- 河川と一体感のある回遊性の高い空間づくり
- 東立石緑地公園や親水テラスを活用した地域活動の促進
- テラス、通路、道路整備による回遊性の向上

20年後を見据え、特徴ある街づくりを進めることで活気のある街にしていきたい

青砥駅周辺では、観光資源や商業・文化施設などを生かしたまちづくり、歩行者空間の安全性・利便性の向上を図る

- 青砥駅周辺のまちづくり
- 地元まちづくり組織の活動支援
 - 歩行空間の安全性や利便性向上の検討
 - 防災機能の強化の検討
 - 商業・文化施設などを活かしたまちづくり

- 立石駅周辺の再開発等を契機とした市街地整備の推進
- 駅前広場の整備
 - 区役所機能の移転
 - エリアマネジメント活動の推進

- 京成押上線の連続立体交差事業の推進
- 高架下の活用

四ツ木駅周辺では、地域の顔となる駅前空間の整備を推進

増加している外国人とも交流できる街づくりをしていきたい

- 四ツ木駅周辺の市街地整備の推進
- 駅前広場の整備
 - 都市計画道路の整備

立石駅周辺では、公益サービス等を充実し、エリアマネジメントを推進



奥戸・新小岩地域

■地域の将来像

世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と、
親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち

■まちづくりの基本方針

- 1) 多様な世代に対応した魅力的な広域拠点の形成
- 2) 震災や水害など様々な災害に強いまちづくり
- 3) 川を生かした身近な水辺空間の充実と緑豊かな市街地の形成



整備方針図と発表のポイント

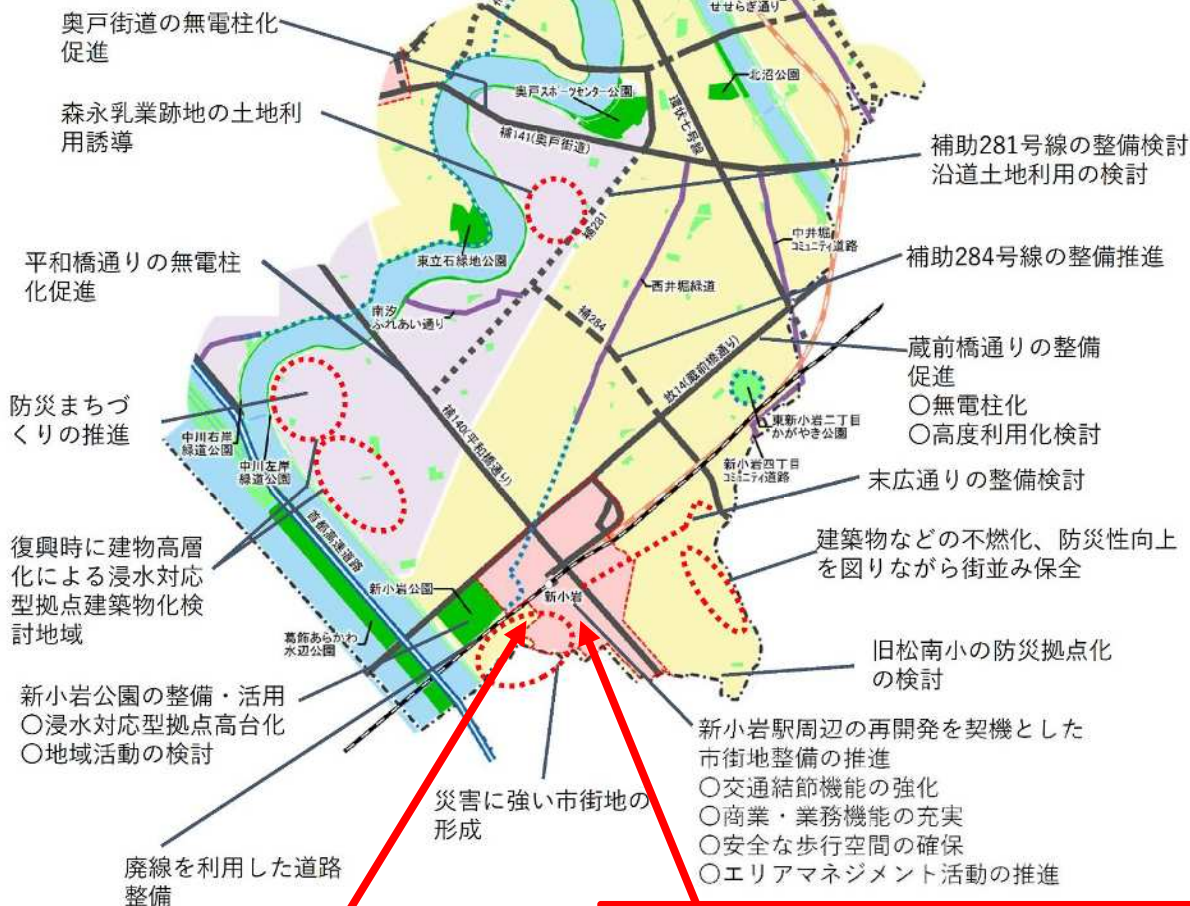
○：地域の思い □：発表した整備方針（抜粋）

〈地域共通〉

- 中川河川軸の形成
- 河川空間での賑わい創出
- 農地の保全などによる緑豊かな市街地の形成

農地の保全・活用や公園の整備、
沿道の緑化を促進し、緑豊かで
良好な市街地の形成を誘導

川は隣人のような存在の
脅威とするだけでなく、機能充実
や水辺を活用した地域活動の推
進など、身近な水辺空間として
充実させていきたい



駅前広場などの整備による交通結節機能の強化や、エリアマネジメントを推進

新小岩駅周辺において、商業・業務機能など多様な都市機能の誘導や多世代が住みやすい質の高い住宅の整備を推進

■各地域の地域別構想について思ったこと

案には、4つのポイントがあったと思います。まず、駅周辺の賑わいや回遊性をどのように確保するのか。2つ目は、緑や公園、川を活かして潤いのあるまちにしたいということ。3つ目は、誰もが歩きやすいまちにしたいということ。4つ目は、高架下空間を有効活用したいということでした。高架下の活用は、効率的な土地利用の面から考えても大切なことですが、土地所有者の鉄道会社、区、地域の三者にwin-win-winを生む機能や施設であることが必要です。



■皆さんがつくった地域別構想をどのように実現していくのか

まちづくりは、つくる「ハード」、そのハードを使うことで賑わいが生まれる「ソフト」の2つで成立します。エリアマネジメントによって、みんなで街を使っていくことが大切です。また、歩きやすい街ですが、困っている人がいたときに自然と手助けができる「心のバリアフリー」も大切で、賑わいにも繋がります。これはハードではできないことです。

これらの構想は、どんなまちにしたいのか、勉強会で、皆さんが知恵を結集し、議論してまとめたものと思います。「紙に描いただけの塗紙（とし）計画」に終わらせず、「みんなの都市計画」として、どのように実現するか、それには「地域協働」という言葉がありますが、今は、区民と行政とが役割分担して、一緒にまちづくりをする時代です。行政でつくられたハードを「生きたまち」にするために「どう使っていくか」は、皆さん次第です。「私たちが何をやったらまちづくりが実現できるのか」と区に問いかけ、やれるところからぜひ取り組んでください。

葛飾区には「街づくり推進条例」があります。条例には、「皆さんが主体となった街づくりを後押しするために、区は支援し、可能な限りのバックアップをします」と書かれています。このような支援制度についても知ってほしいし、活用してほしいと思います。

PDCA—Plan⇒Do⇒Check⇒Action—も重要です。5年後に実現できたもの、できなかったもの、その原因などを考え、行政に伝え、一緒に工夫することが計画実現につながります。今回の勉強会を通じて一緒に街づくりについて議論できる仲間ができたのではないかと思います。今日の発表会で終わりではなく、今後も街づくりに取り組んでほしいと思います。

アンケートのご意見等

- ・改定経過や街づくりの情報を知らせてほしい
- ・一般の勉強会参加者を増やす工夫をしてほしい
- ・意見収集は、地域で偏りが無いよう工夫が必要

ご意見ありがとうございます。街づくりなどの情報は、駅前再開発や災害に強い街づくりなどをはじめとして、本勉強会の参加者募集においても、広報やホームページで情報発信をしまいいりました。オープンハウスの開催については、あわせてTwitterやLINEなど、複数のSNSでも周知し、来場者のなかには、SNSで開催を知ったという方もおられましたので、一定の効果はあったと考えております。

一方で、関心がない方々に街づくりにご参加いただくには、一層の工夫が必要ですので、発信方法などについて、引き続き検討してまいります。

本音ベースの区民の意見をまとめておくべきではないか

勉強会の検討過程でいただいたご意見については、区で保存し、今後の街づくりにいかしていきます。

その他のご意見

- ・他地区の魅力や課題を知ることで地元の優位性や弱点を再発見できた。
- ・今後も葛飾のまちづくりに参画できる機会があると嬉しく思う。
- ・発表時のスクリーン資料は、配布資料と同じにせず、写真を増やすなど工夫してほしい。
- ・発表では、自分の地域をよくしたいという強い思いが伝わってきた。
- ・全地域の魅力や課題がよくまとめられていた。ぜひスピード感を持って実現してほしい。

お問い合わせ先

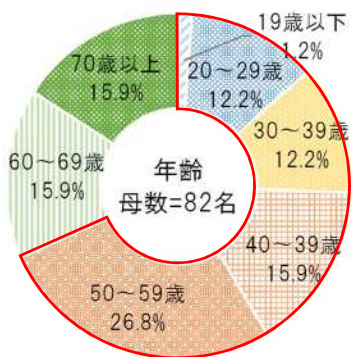
葛飾区 都市整備部 都市計画課 街づくり計画担当係 電話：03-5654-8382（直通）【担当：山本、兵頭、原田】

座 学（幅広い世代からの意見収集の結果について）

	オープンハウス	若者・子育て・現役世代アンケート	中学生アンケート
方法	パネル展示、対面での説明	WEBアンケート	WEBアンケート
対象者	区内在住者、区内来訪者	区内在住15歳～59歳	区立中学校（10校）2年生
回答数	101名（アンケート回答82名）	1,000名	914名（回答率73.4%）
調査内容	各素案に対する意見 各地域のまちづくりに対する意見	将来に残したい葛飾らしさ 各素案に対する意見	将来に残したい葛飾らしさ 将来住みたい場所の条件 各素案に対する意見
いただいた主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 水元地域の交通不便の解消 柴又駅周辺の回遊性を高める 曳舟川親水公園の活用 立石駅付近の雑多なまちは好き 新小岩駅周辺の都市開発 	<ul style="list-style-type: none"> 金町駅自体の改良、改札の増設 お花茶屋駅の高架化や周辺の活性化、改善 細田地域の具体的なプランがない 歩道が狭いため改善してほしい（亀有・小菅・堀切・お花茶屋） 立石駅にエレベーターがないため、バリアフリー化してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 葛飾区の計画を知り、街がどう変わっていくのか楽しみ 葛飾区のために計画を考えてくれるのが嬉しい 都市開発が進んでも緑や自然を残してほしい 動画が長い、言葉が難しい、シンプルな字幕がほしい

中学生アンケート：各地域の将来像に対する評価

オープンハウス
来場者の年齢構成



来場者の68.3%が現役世代という結果となりました
アンケート回答者は82名

